

2025 年（令和 7 年）の日本の年平均気温 及び日本近海の年平均海面水温（速報）

2025 年の日本の年平均気温偏差¹は+1.25℃（1～11 月の期間から算出した速報値）で、統計を開始した 1898 年以降、2024 年（1 位）、2023 年（2 位）に次いで 3 番目に高い値となる見込みです（図 1）。また、最近 7 年（2019～2025 年）は、すべて歴代 7 位以内となる見込みです。日本の年平均気温は、長期的には 100 年あたり 1.44℃の割合で上昇しており、特に 1990 年代以降、高温となる年が多くなっています。また、地球温暖化の進行に伴い、このような記録的な高温が発生しやすくなっています。

2025 年の日本の平均気温の特徴として、夏から秋の前半にかけては上空の偏西風が平年より北寄りを流れやすく暖かい空気に覆われやすかったこと、日本付近で高気圧の勢力が強い時期があったことなどから平均気温の高い月が多くなりました（日本の天候の詳細は別紙 1-2 に記載）。

また、2025 年の日本近海の年平均海面水温の平年差²は+0.96℃（1～11 月の期間から算出した速報値）で、統計を開始した 1908 年以降、2024 年（1 位）、2023 年（2 位）に次いで 3 番目に高い値となる見込みです（図 2）。海域別に見ると、東シナ海と黄海では、年平均海面水温が 2024 年（1 位）に次いで 2 番目に高い値となる見込みです。日本近海の海面水温は日本の天候と互いに影響しあっており、長期的に上昇しています。

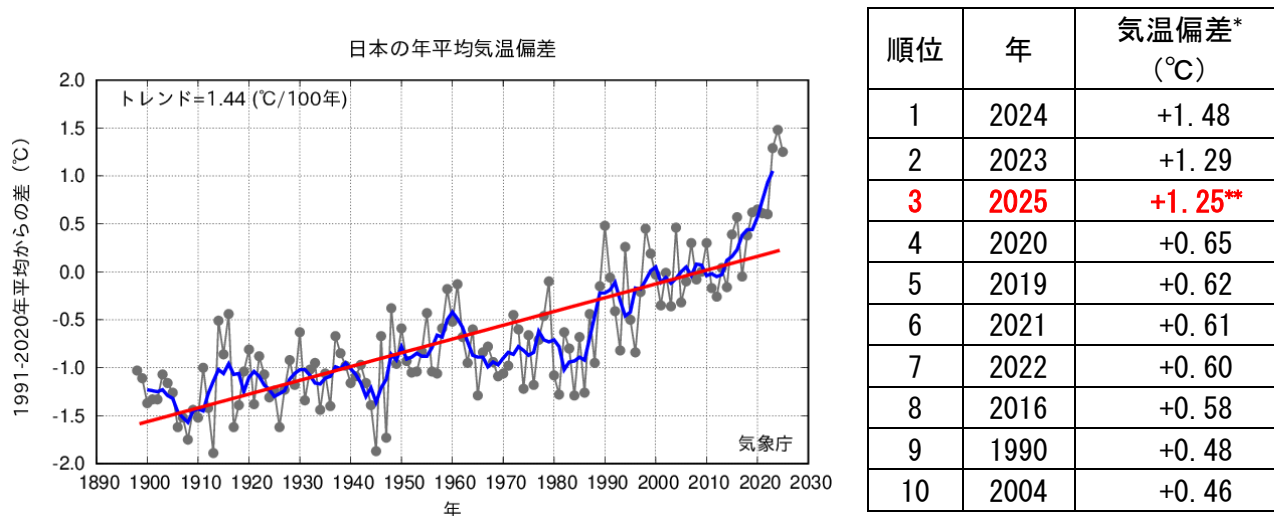


図 1 日本の平均気温偏差（年平均）の経年変化（1898～2025 年、速報）と順位表（上位 10 年）

黒線は各年の偏差、青線は偏差の 5 年移動平均値、赤線は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す。偏差の算出には 1991～2020 年の 30 年平均値を用いている。2025 年は 1～11 月までの観測データによる速報値。

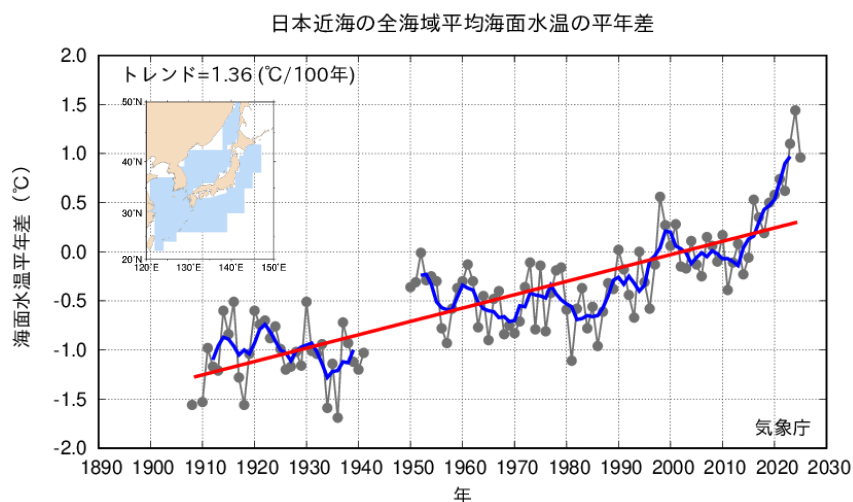
*：1991～2020 年の 30 年平均値からの偏差

**：2025 年の値は 1～11 月までの観測データによる速報値

¹ 観測データの均質性が長期間確保でき、かつ都市化等による環境の変化が比較的小さい地点から、地域的に偏りなく分布するように選出した 15 地点（※）について、それぞれの気温の 30 年平均（1991 年～2020 年）を基準とした偏差を求め、それらを全地点で平均した値。ただし、宮崎及び飯田については、観測所の移転による観測データへの影響を評価し、移転による影響を除去するための補正を行っている。

※網走、根室、寿都、山形、石巻、伏木、飯田、銚子、境、浜田、彦根、宮崎、多度津、名瀬、石垣島

² 平年差は平年値との差をいい、平年値は 1991～2020 年の 30 年平均値を使用している。



順位	年	平年差 (°C)
1	2024	+1.44
2	2023	+1.10
3	2025	+0.96***
4	2021	+0.74
5	2022	+0.62
6	2020	+0.58
7	1998	+0.56
8	2016	+0.53
9	2019	+0.50
10	2017	+0.35

図2 日本近海の全海域平均海面水温（年平均）の平年差の経年変化（1908～2025年、速報）と順位表（上位10年）

黒線は各年の平年差、青線は平年差の5年移動平均値、赤線は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す。平年値は1991～2020年の30年平均値。2025年は1～11月までのデータによる速報値。左上図は平均した日本近海の海域³を示す。

***：2025年の値は1～11月までの解析データによる速報値

本資料は、2025年1～11月までのデータをもとに、速報としてまとめたものです。

日本の年平均気温の確定値と年降水量は、2026年1月初めにホームページ（下記URL）で発表します。同ページでは、年別・季節別・月別の世界及び日本の平均気温を随時更新・掲載しています。また、日本近海の海面水温の確定値は、2026年3月5日にホームページ（下記URL）で発表します。

気温・降水量の長期変化傾向

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/index.html>



海面水温の長期変化傾向（日本近海）

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/shindan/a_1/japan_warm/japan_warm.html



³ 歴史的な観測データの分布から設定した海域。